

会員各位

(社)日本畜産学会

理事長 泉水 直人

機関誌編集委員長 友金 弘

論文投稿に当たっての注意

2005年7月に新聞等で報道され、会員の皆様はご存じのことと拝察いたしますが、日本学術会議主催の講演会(2005年7月4日)「科学におけるミスコンダクトの現状と対応策 - 科学者のコミュニティの自律に向けて -」が開催されました。同講演会は、ねつ造、改ざん、盗用などの科学上のミスコンダクト(不正行為)が頻発し、技術倫理の欠如も看過できない社会問題となっている現在、ミスコンダクトの現状を知り、その予防策と事後処理のあり方を具体的に提言する場として開催されたとのことでした。新聞報道によれば、日本学術会議に参加する学術団体のうち過去5年間に少なくとも113学会で会員の不正行為が内部的に問題となっていたとのことでした。その不正行為としては、**二重投稿**、**盗用**、**デ-タのねつ造**や**改ざん**が挙げられています。

本学会の会員皆様におかれましては、論文の投稿に関しましてはこれらの不正行為に対しては十分注意を払いいただき、本学会の機関誌である Animal Science Journal や日本畜産学会報ばかりでなく、他誌へ積極的に投稿していただきますよう強く要望いたします。

以上